

MORI MORI PRESS

November

11
2011 秋号

モリモリプレス

www.morita-toshikazu.com

森田としかず

検索

moritter

森田のつばやき

mori_morita

発行／埼玉県議会自民党議員団

tel.048-530-6001

森田としかず事務所 (通称:モリモリオフィス)

〒360-0831 熊谷市久保島1003-2

fax.048-530-6002

討議資料



県政報告

埼玉県議会議員

森田としかずニュースレター



モニタリングポスト



食品・土壌用放射能測定器

定期的な計測と情報提供
7月7日以来、県内116箇所で2週間ごとに放射線量を測定し、その結果をホームページ等で公表しています。また、米、野菜等の農産物については、出荷時季、産地などを考慮し、継続的に検査を行い、その結果を公表します。

原発事故への影響



危機管理防災センターにて

東日本大震災から早くも八ヶ月。まだまだ先の見えない問題が山積みになっていきます。気になる原発事故への対応や、今後の災害対策など、現時点での取り組みをご紹介します。

震災への対応

危機を乗り越えるために！
埼玉県の対策は？

災害対策の見直し

帰宅困難者への対応

今回の震災では、駅周辺等市街地に多くの方が滞留する状況が発生しました。ホールなどの公的施設やホテルなどの民間施設を確保し、帰宅困難な方が一時避難所として活用できるよう準備します。



公共施設を避難所に指定

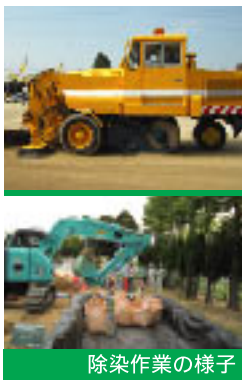
備蓄の充実を求めます

鉄道会社との連携強化

災害発生時、行政と鉄道会社との連絡がとれず、現場の混乱を

除染への対応

県の調査で比較的放射線量が高かった三郷市の小学校で除染を行いました。この結果をふまえ、県としてモデルを確立し、今後除染を行う市町村に助言します。



除染作業の様子

茶の「検査済銘柄」シールについて
暫定基準値を下回り安全性が確認された製品について、検査済シールを貼付しています。



■対象茶商／鶴ヶ島市6、日高市3、川越市1、所沢市1、入間市1
合計12茶商



エコタウン(イメージ)※県白書より

今年度は、県内5カ所程度の地域において、実施可能性を調査しますが、ぜひ熊谷でこのプロジェクトを行えるよう働きかけてまいります。

エコタウンプロジェクト

いつまでも原発に頼り続けることはできません。埼玉県では、エネルギーの自給自足を可能とするモデルを構築していきます。太陽光発電などの創エネ、LED電球などの省エネ、蓄電池を加えたスマートグリッドなどを一体として整備し、実験的な取組を行います。



震災直後のスーパーアリーナ

招きました。県と鉄道会社との窓口を定め、今後の円滑な情報収集、対応が可能となります。



児童生徒への対応

震災発生時には、通学路などの安全確認がとれるまでは、児童生徒を帰宅させません。保護者またはその代理の方へ引き渡すように対応を統一します。

大規模訓練の実施

静岡、兵庫などの例を参考としながら、より実践的な訓練を行う必要があります。職員の対応能力を高めるため、大規模な図上演習を実施し、また複合的な災害への対処法を定めます。

山形県

2011
8/9~11

環境農林委員会

ここに注目!! 震災後脚光が当たる小水力発電ですが、発電するには落差と水量が必要とのこと。平地の川では、大きな電力を生むのは難しそうです。わさび栽培に取り組む農業生産法人は、生産効率が上がらないという悩みを抱えています。出荷に至るまでの期間をいかに短縮できるかが鍵となります。



山形県企業局の小水力発電



飼料米を出荷するJA庄内みどり



わさびを生産する大富農産(有)

視察



自分の将来を語る清林館高校の生徒



企業が出資する海洋学園



若手企業人も指導にあたります

2011
9/5~7

愛知県

次世代人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会

ここに注目!! 清林館高等学校で学んだ生徒は、留学を通して日本を見つめ直しています。海陽中等教育学校では、企業人を講師に迎え、将来の夢を描けるような環境を整えています。これからの日本に必要なのは、積極果敢に海外に打って出て行くことと、創造性だと改めて感じます。



大きな鎌を使い、草を刈ります

「熊高森づくりの会」育樹祭に参加しました。700万本へ向けて、植樹カウンターの数字は着実な上昇を続けています！

植樹カウンター稼働中!!

埼玉県植樹カウンター

2,569,260



2009年4月から2011年9月30日までの植樹本数

熊谷市久保島 土幌町農協

2011
10/6

ここに注目!!

はるばる北海道土幌町から旅をして来る馬鈴薯は約1.5万トン!!北海道でも有数の農協である土幌町農協が、ポテトチップ用に製菓会社に卸しているじゃがいもの倉庫がここ熊谷にあります。東松山、加須などの工場に出荷する拠点となっており、鉄道と道路網が交差する要衝としての熊谷の存在価値を活かしている好例と言えますね!!



はるばる帯広から馬鈴薯が到着



熊谷通運のトラック



馬鈴薯を倉庫内に運びます



倉庫に積まれた馬鈴薯